

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第3回高松市創造都市推進懇談会（U40／3期）
開催日時	平成29年3月2日（木） 18時30分～20時30分
開催場所	瓦町 FLAG 8階 多目的スタジオ
議 題	（1）アイデアシートの仕分け （2）事業提案の絞り込み
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	徳倉会長、大美副会長、坂口副会長、河田委員、桑村委員、児島委員、笹川委員、田中司委員、田中祐委員、谷委員、瑞田委員、西谷委員、宮井委員、吉岡委員、若宮委員、渡邊委員
市職員	藤本、三浦、小松、時高、住吉、末澤、堤、田村、美濃、杉原、本条、永木
事務局	平田補佐、溝渕補佐、塩田係長
傍聴者	3人（定員5人）
担当課および連絡先	産業振興課 創造産業係 839-2411

審議経過及び審議結果

1 開会

（メンバーから告知）

【会長】

先週に引き続いての会。今日が意外と山場。というのも、前回91のアイデアをみなさんに振り分けていただいた。これから5%を探すということで、自分のアイデアが選ばれないという人が出てくる。割とハードな会となる。あと、今日は市役所の会議室ではないので、時間的制約もある。

まず、今年度は今日の会で終わるが、我々にはビジョン改定というテーマがあるので、そこについて、事務局の方からもう一度説明いただいてから、私の方からもいくつかお話をした後に、選定の過程にうつりたい。

【事務局】

現在の「創造都市推進ビジョン」については、期間を平成25年10月から平成29年度までと定めており、来年度中に平成30年度を始まりとする次期ビジョンを作成する予定。皆様方には、次期ビジョンに掲載する内容の中で、特に、現在の各論の6つのプロジェクト『交流空間』、『食』、『生活工芸』、『祝祭』、『国際会議』、『こども』の部分について、この6つのテーマを足したり引いたりして、新たな切り口で創造都市の各事業を見せる、『テーマの案出し』と、その『テーマの取組イメージ』について、主に御意見をいただきたいと思っている。

審議経過及び審議結果

今年度は今回が最終で、来年度については3回、今のところ5月、7月、10月に開催を予定している。U40のみなさんにビジョン改定のアイデアをいただいたものを、U40の親会である高松市創造都市推進審議会にあげていくという流れで進めていく予定。

また、本ビジョンにおいては、前回大西市長の挨拶にもビジョンの中にテーマとして掲げている『こども』、クリエイティブチルドレンプロジェクトに力を入れたいという話があった。

創造都市推進審議会の会長で、創造都市の第一人者でもある佐々木雅幸先生からも、高松市の創造都市の全国的にもユニークな点である『こども』をもっと打ち出した方がいいと御意見をいただいているので、ビジョンの改定にあたっては、『こども推し』でいきたいと思っている。

【会長】

ありがとうございます。「こども」を意識していきましょう。

1回目2回目を通じて、いろんな方とコミュニケーションをとった。いくつか気になったことを共有したい。

2回目の会議のときに、予算のとり方の説明をいただいた。民間の人は、普段からいろんな人とやりとりをしているので、共通認識がとれるようなやり取りを意識していると思う。前回チームに分かれたときに、公務員メンバー同士のやりとりなんかで、公務員用語で話を進んでしまったということが散見された。なので、民間の方でその言葉のニュアンスがわからないとか、違和感があることがあれば、その場で遠慮なく言っていただきたい。民間の方には声かけをお願いしたいし、行政の方には、だめということではなくて、普段のやりとりにもそういうことがあると思うので、そのあたり、心をくわいていただけると、コミュニケーションの齟齬がなくなるので、そこをお願いしたい。

今日は事業をバサバサ切ることになるかもしれない。「なんで私の意見が切られちゃうの」みたいになっては困るので、いろいろ探した。これがうまくはまるかどうかはわからないが「協働企画提案事業」というものがある。年間新規で2件、上限45万円までで、企画書を書いて、いろんなハードルはあるが、市民と行政が協働して何か事業を行うというものがある。中に、こんな事業をしてほしいという課題解決型や、自由テーマのものなどあるが、万が一今日選ばれなくても、どうしてもやりたいというものがあれば、任意団体を立ち上げたり、例えば四国若者会議でも出せる。こういうものもあるということ調べてよという報告。

昨日の事務局からメールがあったと思う。3期のフェイスブックグループページを作りたいと思っている。次年度は3回しか正式な会ができない。現実的にその3回は、ビジョン改定の作業がマストにあるので、そこに時間をさかないといけない。今日やりたいことは、91のアイデアから、とりあえずすぐできそうなものを決めたい。そこからは、僕らの、ある意味任意の活動になる。プロジェクトチームみたいなものを作って、場所なんかは市で提供していただきながら、積み上げていくことになる。そういう形になるかなと思っているので、よろしくをお願いしたい。メンバーは

U40（3期）＋市役所 U40（3期）＋事務局のみ。非公開でしたい。

（メンバー賛同）

2 アイデアシートの仕分け・事業提案の絞り込み

資料が 2 枚あると思う。色がついてない方が、前回みなさんにわけていただいたものそのまま。もう一枚が事務局案なので、この説明をお願いしたい。

【事務局】

アイデア仕分けの事務局案についてですが、基本的に前回の会の中で、みなさんがグループごとに仕分けしていただいた内容をもとに、事務局が上下の順番を入れ替えたり、一部 3 つの区分をまたいで移動させたりしながら、関連がありそうなもの括りで並べかえ、かたまりごとに白黒反転させている。また前回発表いただいたアイデアを太字にしている。こういう内容で、事務局で資料を作成していますが、あくまでこれは参考資料として作っているものなので、とらわれすぎずに参考程度にみていただきたい。

【会長】

事業の絞り込み方のイメージを伝えたい。まず、【すぐにできそう】の中から数個選んで、メインとなる事業とサブ的事业を選ぶ。どういうことかということ、パラ陸上はすごく大きな事業となる。こういうのをメインと考える。メインの事業にくっつけられそうな事業のことをサブとする。大きなものをドンと決めて、それに付随できそうな事業を、サブと呼ばせていただきたい。【すぐにできそう】という中に 30 弱あると思うが、予算などいろんなリソースがあると思うので、メインを 1～2 個選びたい。

ポイントとしては、今まで、たぶんですけど、U40 がやっているということが社会に対してわかっていないものが多くあったように思う。盆栽カフェとか、EAT BEAT とか、やっているのは知ってたけど、U40 から出たアイデアだということはよくわからなかった。U40 が企画して、U40 の中から生まれて、何かしら起こしているという、わかりやすい成果を 1 つ、この 1 年の中で見せたい。

今日は、一番左の【すぐにできそう】の中から、1～2 個メインを選び、そのメインに付随するようなサブを見つけるところまでは、今日最低限やりたい。それができたら、【29 年度】【30 年度】に移っていく。この中でもいろんなレベル感がある。企画のレベル感もそうだし、市役所の中でも、1 つの課だけの関わりでできるものもあれば、いくつかの課にまたがるものもある。前回話したように、予算を取っていく上で、調整が必要になってくるので、【29 年度】【30 年度】に書いてあるものについては、ここでやりたいと決まっても、うまく進んでいかない可能性があること理解してほしい。それは【すぐにできそう】の中で、割とすぐできそうと思ってたけど、ここの課の今のタイミングでは難しいというものも出てくると思う。当然その結果はみなさんには伝える。世に出すかは別として。メンバーにはここまで調整して、結果がどうだったというのは伝えたいと思っているので、よろしくお願いしたい。まずは小さな成功体験を積み重ねるということで、すぐにできそうなものから始める。

で、このタイミングでみなさんに確認していただきたいことがある。みなさんのア

アイデアが、前回で勝手に振り分けられていてグループ化されているけど、これは違うぞというものがあれば、今日前半のタイミングで発表してほしい。

ここからは、どうやって決めていくかというところ。ポイントは小さな成功体験を積み重ねるということで、すぐにできそうなものからはじめるということ。じゃあどう決めよう？

ここからは全員が納得するというのは正直難しいと思う。二進も三進もいかないときは「協働企画提案事業」を今日持ってきた意図を汲んでほしい。

【副会長】

民主主義的な方法だと、投票しながら決めるということになると思うが、結構時間もかかるし、点数が具体的に出てくるのでちょっとという部分もある。すでに仕分けしているものもあるので、はっきりとグループにできそうなものも、何となく見えている。それらを並べて行って、そこの主体となる人たちでここにくっつけそうだなというものをに入れていく感じかなと。

【会長】

グループに分けて考えるのがいいか、全員で考えるかを悩んでいる。イメージとしては、まず、メインかサブかのふるいにかけてみたい。ここに 30 人いるが、28 人が賛成するものが社会にとって本当にいいものかどうかわからない。例えば、1 個 2 個のアイデアが、イノベティブで誰も思いついていないアイデアかもしれない。でもこういうことを言い出したら、二進も三進もいなくなる。

U40 のみんなの感覚値の中で、これおもしろそうだな、みんながのっかれるなというものをメインとして選びたい。【すぐにできそう】というところを見ていただき、分け方に違和感がないかみてほしい。それと合わせて、これはメインだな、これはサブだなという印を、わからないものは印なしで、3 分間くらい真剣にまず見てほしい。それを共有しながら、みんなでメインとサブを選んでいきたい。

（作業）

【会長】

ここから 3 グループに分かれて、メインのポイントとサブのポイントを集計してもらいたい。区分けについても意見があれば、グループ内で共有してほしい。3 つのグループの集計結果を合わせて、それを講評してみんなでコンセンサスをとるという方法しか着地点がないかなと思う。30 人いるので、で、そのタイミングで、意義がある人は時間を設けるので発言してもらえれば。これがうまくいけば、残り 2 つも進めたい。

【委員】

パラ陸上は、3 つすべての枠に入っているが、毎回検討するのは違和感がある。

【会長】

1 つ難しいのは、パラは 3 年間続く大きな事業であるという点。なので 3 つすべてに入っている。

【委員】

パラだけ別格にするイメージ？

【市職員 U40】

パラに対して、我々が直接何かするのか、実行委員会的なところに提案をしていくのか、わかりづらいなど。どういうスタンスでいこうとしているのか。これ自体は市の事業なので、実行委員会なりで、ある程度案を持っているのだと思うが、そこに漏れているものをフォローアップしていきたいのか、それとも出てきているものに対してもっとこうしたらいいよということを書いていきたい立場を目指すのか。U40としてどういう立場を目指すのか？

【会長】

それでいうと、僕はどっちもやりたいし、こないだの提案者のプレゼンを聞いていてもそう感じた。それに、これはフォローの風が吹いている事業だと思う。当事者もいるしその分野に強いものもいるので、そこに我々の知見を入れて、「こども」のところをどうしていくかとか、他の事業にどうつなげるかみたいなのところをできればいいかなと僕のイメージでは思っている。提案者のお2人にお考えがあれば。

【委員】

自分は競技者という立場で実行委員会に参加する予定。そこで、競技者の立場、U40の立場も兼ねてここで出た意見を実行委員会の場で発言できればと思っている。

【委員】

パラ、スポーツ振興はもちろんだが、一番大事なのは「スポーツツーリズム」というところで、観光課をまたぐというか、観光要素も強くなってくるところを重要視したい。関係者200人が高松に泊まるということ考えたときの受け皿、情報、受け入れ態勢をどう整えるかを重視したい。いま会長のおっしゃった両方だなと思っている。ただ、すでに進んでいる部分があると思うが、そこに対してのことは私は全然わからないけど、足りない部分とか新しく提案したい部分とかは入れていきたい。

【会長】

今提案いただいたみたいに、別建てにするか？やらないという選択肢はなくて、やるという意味の別建てなら有だと思う。これを特別視するというのではなくて、せっかくのタイミングでもある。事業として別格。そこに関して、U40はド素人の集団ではないので、これに関してはU40としてやっていき、お2人に先導いただくということで、今ここでみなさんの合意がとれるなら、僕は別建てでもいいと思っている。

(メンバー賛同)

これは別建てで、他部門とも絡むところではあるので、お2人に先導していただきながらみなさんにも共有しつつ進めたい。パラに関しては今日の仕分けからは外してやっていくということで。ポイントはどこかで「こども」を強調するということ。

では、18番以下のメインとサブの仕分けに入る。

(グループワーク+全体集計)

【会長】

『若者図鑑』『若い人たちの仕事』『冬のまつり』
これがメインだということに違和感がないか？拮抗しているものは？

【副会長】

どちらかにくっきり分かれている。あえて言うなら、78「高松市の魅力再発見・再認識」くらい。でも5ポイントは離れている。

【会長】

提案者は休みか…。パラが僕らの中では半確定だとすると、これが動いていったとき、あとできても1～2個。

【市職員 U40】

冬のまつりはサブになりにくいので、メインとしての点数が高いというのはある。

【会長】

逆に言うと、この3つの中でサブをつけやすいというのはあるかな？ここで会長なのに意見を言うのはなんなんですが、U40の1期2期のメンバーいろんな方にヒアリングした中で、これまで「発信」が弱かったというのがあった。発信系の事業はやりたいなというのが、会長としてはある。メリットとしては、1つやることで複数のメリットがあるし、ずっと残る。1期2期の時は、瞬間の花火はあるが、フロー型が多く、ストック型が欠けていたかなという印象。例えばフェイスブックにあげていくのは、ほぼフロー型の発信、ブログへの掲載はストック。これはホームページを作りたいということではなくて、何も発信してなかったところに、フェイスブックのページを作るというのでも、ある意味ストックかなとは思う。

【副会長】

『仕事百科』については、高松の関係人口を増やそうとか、高松に来たいけど仕事ないよねとかいう一方で中小企業さん側は人が足りないというそこをつなげるサイトをやるという企画。25・26・30の事業継承関係ともくっつけられるかも。伝統工芸や、食のイベントなんかもくっつけられそう。

【会長】

事務局に伺うが、これは確度的に見て、割とやりやすい？

【事務局】

関係する課の多さで言うと、多くはなくて、主な担当課は産業振興課になると思う。そういう意味ではやりやすいかと思う。

【会長】

これに、例えば上から5つをやりましようとなったときに、どのサブを選ぶか。

メインが決まればサブが決まるかなと思っていましたが、先ほどご指摘のあったように、メインにしかかなりえないものの点が高くなっている可能性もある。でもメインはメイン。

【市職員 U40】

核となるものがあるって、そこにくっついていっているということ。例えば18-30の5つは1つにできると思っていて、私の中では91がメインで、他がそのサブなのかなというイメージ。考え方はいろいろあると思う。さらにそこから派生してくっつけられるものも出てくるかも。5個くっつけてメインということではいいのか？

【委員】

自分のまわりにもものづくりをしている人が多いので、30。「伝統工芸士育成事業」で伝統工芸の話をお話している。「こども」がポイントという話があった中で、今のメインだけじゃ弱い気がした。サブはこれ以外から選んだ方がいいのかなと思った。

【会長】

ここでは「こども」は置いておいて、後からくっつけることにしたい。18-30を一括りでいいか？ちょっとそれはというのがあれば。

【市職員 U40】

坂口さんの仕事百科は、都会から来る人とこちらの企業のマッチングという話だったと思う。サブが事業継承や伝統工芸に傾いてしまうことに問題はないのかなと気になった。継承だけでなく、マッチングするという仕事もあると思うので、これだけに偏りたくないなという思いもある。

【会長】

マッチング事業は香川県もやっている。私が書いた提案もあるので補足すると、あえて「受け手」と書いているのは、受け手を集める事業って誰もやっていない。経営者に聞くと経営者の次のなり手がいないという話を聞く。継いでもらえない側の人たちはいっぱい集めているが、受け手を集めているものはない。それを若い世代の力で集めていって、その結果、県やよろず支援なんかと一緒にやってみたいなイメージ。それは全国的にも珍しいなという着目点で書いた案。指摘された点は一緒に考えていけるところかなと思っている。

【市職員 U40】

関連する部局が少ないのはわかるが、予算面は大丈夫なのか？ポータルサイトを誰が運営するかとか、誰が作るかとなったときに、そのコストはどうするのか？そもそもそんな事業が存在するのか、その部分を組み替えたりしてフォローできるようなものが方法としてあるのか？

【事務局】

全部の事業に関わってくることだが、みなさんのやりたいことがある中で、市としてその事業に求められる役割が何なのかが明らかにならないと、予算等の判断は難し

い。まずはその整理が必要。

【市職員 U40】

U40 としては、こういうことをしたらどうですかとアイデアを提案していくことが活動になる？具体的にこれをすぐやってみましょうではないですよね？

【会長】

それに向けて動くということ。まずは投げてみて、それで予算がつけばやっていくというニュアンス。

【市職員 U40】

ここでいう【すぐできそう】というのは、関係課が少ないという意味でのすぐできそう、実動できるかどうかは別問題と認識している。

【会長】

そういう意味では、先ほどのパラは実現できそうということ。ここで、18-30をメインとするなら、メインが2個になるので、一旦、これで動いて、【すぐにできそう】の部分は議論終了でよいか？今日はちょっと乱暴な進め方なので、気になることがあればバンバン発言してほしい。

【市職員 U40】

それをメインにするのであれば、このメインにサブとしてくっつけられそうみたいなところもピックアップしておいたら。バサッと切られてしまうなら、今のうちにくっつけておきたい。事業継承なら、79の「地産地出の販路模索」もくっつけられなかなと思う。

【会長】

あとは、ハッシュタグは別途やってもいいかなと。

地産地出以外に、事業継承やパラにくっつけたほうが良いサブがあれば。

【副会長】

このグループで話し合った時にも出ていたが、79-78、15-54も、パラはいろんな事業を吸収していける可能性があると思うので、サブとしてくっつけられるかも。メインとしてもやっていけるかなという意見もあったが、パラのサブにもなるのではとも思う。先ほどの話にもあったが、79-78については、観光とかの色も強いかなと思うので、パラで来られる方々へのサブの事業としても活かせるのではないかなと思う。今日どこまで議論するかはあると思うが。

【会長】

していいと思う。議論の場がかなり少ないので、最低限すぐにできそうの中で選べられれば今日は及第点。パラもそうだし仕事系もそうだが、予算がついたとして、じゃあ動きますとなったときに、どういう動き方ができるか。確かにいろんなものはくつつくが、くつつくということは、個別とはいえ事業立てが必要となる。どこまでU40の中で人員や時間をさけるのか。案を書いて出すだけならいいが、実際に事業

をまわしていくとなると、案は出したから後は市役所でやってねというのは割と難しいと思う。乗せておいて後から削るイメージ？

【副会長】

そう。

【会長】

そしたらパラは別建てで、パラのサブとしてこれを置いておいて、お仕事系はお仕事系で置いておいて、予算面などのリアクションを待つのでいいか？

【市職員 U40】

予算のリアクションの前に、自分たちがやりたいからクラウドファンディングとかかしてやろうよというのが、この【すぐにできそう】の列なのかなと思っていたが、そうではない？

【会長】

クラウドファンディングしてお金が集まりそうかという点。

【委員】

できるかどうかはわからないが、クラウドファンディングを担当するところに相談には行けると思う。話の趣旨が市の予算メインになっているので、そうすると【すぐできそう】の意味合いが変わってくるかな。一旦メインになるものを決めた後に、予算をとっていくのか、クラウドファンディングするのか、そこはもう一度メンバーで話し合った方がいい。

【副会長】

前回のグループ分けのときに、54の「ストバス」の提案について、田中さんが、コストをかけずにできるよねという話をされてここに区分したので、そのイメージを説明してもらえれば。

【委員】

54の「ストバス」の案は協賛という形で、バスケット好きの社長さんにバスケット愛を訴えて、20～30万出してもらって、ゴールの代金を稼ごうというもの。そこにファイブアローズを巻き込んで、あと、場所は市の施設の駐車場を使いたい。プールの駐車場って夏以外はほとんど使われていないと思うので、そこにリンクだけとりあえず立てて、立てるリンクに企業からお金をもらって、バスケットの競技人口は多いので、バスケット好き社長さんに、こどもたちのために20万くらい出してゴールを買ってとお願いして回って、協賛してくれた企業のロゴをそのバスケットにつける。

駐車場として使っていないときに、どんどん立てて、駐車場として使うときはリンクを外して、ゴールはあるけどリンクはない状態にする。駐車場を使わないときは、リンクをつけて開放してあげる。営業時間外は閉め切れれば、夜中に勝手に使われることもない。そういうイメージ。これはどちらかというところ、自分でできる。やる人間がいたらファイブアローズと組んで回って、市のOKがもらえれば立てられちゃう。

この中で、すごく簡単にできるやつってあると思う。自分でお金を出してがんばれ

ばできるよねという案は結構ある。そういうのは、個々で、U40 のメンバーの中でやりたい人は、自分の意思でやっちゃえばいいんじゃないかと思う。それが形になったときに、これは U40 から出たアイデアなんだよというのを、発信にくっつけて、この場に出て意見がこんなふうの実現しちゃいましたっていうふうに、個々の努力で実現したものは U40 の名前であげたらいいのではないか。このくっつけるということも、メインのパラがあって、例えば私が大会に行って、地元の産品として八チミツを売りますとか、くっつけようと思ったら、何でもくっつけられる。とりあえず大きなメインがあって、そのメインの中で、どういうことを主眼にやっていくのかということが決まっていけば、サブでどういうことができるのか、後からどんどん出てくると思う。そのときに、ここにこんな提案があったなみたいな意見をもう一度拾い上げてやっていくと、きれいに落ちていくのではないか。

【会長】

すごくいいと思う。これはもう自分でやってます・やりますみたいな案はありますか？

【市職員 U40】

67の「おやこ小学校」。授業みたいな感じでやっているの、図工の時間に伝統工芸の漆とかの話をしてもいいし、今度体育をするが、地元の少年野球のチームと一緒に場所を借りて野球をやったりする。ここでの取組は、いろいろなものをつなげられる。予算も別建てでとったり、申請したりして動いている。

【副会長】

発信事業の方で、いろいろやってますということ、ひとまとまりで見せれたらよい。

【会長】

ということは、発信事業を核にして、みんなのしたいことを実現していく、お金のかからない部分に関しては、ということなのかな。

【委員】

もし、29年度に発信事業の予算取りを目指すのであれば、発信事業のサブとして、みんなが個々に努力できる活動を入れていくという感じかなと。そうしたら、個々に活動した成果を、U40 という中から生まれ出た成果として、表に出していけるのでは。

【会長】

では、クールダウンを込めて、29年度を見ていただいて、後でまた戻ります。

今の話を借りると、例えば真ん中の50「高松をみんなで歩いて縦断しよう」というアイデアなんかも、自前でやりつつ、募集とか結果とか U40 の管理でやっていくみたいなイメージ。

今、御自身が出したアイデアで、【すぐできそう】のところ、もしくは【29年度】のところ、すでに自社の事業とかでやっているものがあれば。

【委員】

45 - 47の農業系。

【副会長】

42の「さぬき食の学校」。農産地のツアーをやっている。

【会長】

じゃあ発信の媒体さえあれば、紐付け可能。特に予算を取らなくても受益者負担とかで。他は？

【副会長】

49の「まちの公園大逃走中」。学校のこどもたちを集めて、勝手に近くの公園でやっている。

【会長】

先週、【すぐにできそう】といいながらも、予算がないとできないものが入っていたことが、議論となっている。

整理をすると、市の中で発信をしたいといったときに、フェイスブックのページがいくつかあると思う。その中でU40で使えるものはある？

【事務局】

市の中のフェイスブックは、市民政策局、創造都市推進局、議会事務局の3つある。

【会長】

創造都市推進局のページに、20のハッシュタグをつけて投稿するというのは、すぐにでもできる？

【事務局】

できる。

【副会長】

ツイッターは？

【事務局】

広聴広報課がやっているなので、市全体がそのツイッターを使っている。

【副会長】

創造都市推進局のページに流れてるコンテンツやPRしているイベントの情報が、ツイッターの方にも流れるというものはある？

【事務局】

あると思う。

【副会長】

ここで出てきたイベントを告知するときに、ツイッターにもまたがってあげてもらうことは可能？

【事務局】

両方とも告知は可能。

【会長】

では、ちょっと整理をすると、パラは別建てでやります。次の、18-30の仕事系は、ちょっとこちらで預からしてもらって、練って予算を取ってもらい動きをします。もう一つが、今からお金をかけずにすぐできる発信の手法を使って、みなさんがやられている取組をカテゴライズしながら発信していくというところまでは、コンセンサスがとれたということで OK?

で、置いておいて、真ん中に戻る。この中でどれがメインかと考える。3つのグループ、19-29、32-34、7-9がある。これが感覚値で言うとメインかなと思った。みなさんの中でこれはメインじゃないっていう方はいるか？

ちょっと乱暴な話をするが、3つがメインなら、これで予算取りに動いてもらう方が現実的かなと。予算取りをしたいときはどういう調整が必要になる？ここに企画を出している人が1回集まって、事業構想というか、目的、やり方を提案させてもらって、あとは事務局にお任せする流れでいいのか、どういうところまで U40 がやった方がいいのかみたいなところ。

【事務局】

基本的に予算取りをするためには、どこか受け皿となる課を作る必要がある。事業の性質や内容によって、それを所管する課から予算を措置する形となる。所管課に対して、U40 から出た意見でこんな事業をしたいと言っているということを我々から伝えていくということになると思う。産業振興課が受け皿なら、言っていたいたものをそのまま動きに乗せていくし、他の課がメインなら、産業振興課から相談をもちかける。

【会長】

それでいうと、真ん中のところは〇がついているので、他の局に跨ぐよりは、ハードルが低い。

【市職員 U40】

今の話で、他の課の立場として意見を言うと、産業振興課は U40 を所管しているので、みなさんから出た意見を素直に受け取ってくれると思うが、他の課としては、U40 さんが言っていると言っても素直に受け取れないところがある。それぞれの課にも柱があり、いろんな人やいろんな事をしてほしいと言ってくる中で、同じように取り扱う。事業としてはやったらいいことかもしれないけど、できる環境にあるかどうかは別問題。産業振興課以外の課との調整はハードルが高くなるのではと思うが？

【事務局】

それはおっしゃるとおりで、産業振興課だけでできりがつくのが一番ハードルが低

い。その次が創造都市推進局内、その次が創造都市推進局外という順にハードルは上がると思われる。あとは内容による。

【市職員 U40】

となると、所管課を考えて事業を見ていくという考えもあるかなと。

【会長】

でも、それありきでやるとつまらんからね。

【委員】

U40 ってそういう縦割りを打破して、役所ができないことをやろうねという前提があるのかなと思う。こういう事業がやりたい、所管する課はたくさんあるけど、だからこそ多方面の課から市役所 U40 が参加してくれているのかなと。例えば、自分が所属する課の所管になったら、その市役所 U40 の方が先頭に立って、こういう事業が必要なんだと説明するような、そういうことを積極的にやってもらえれば。最初から予算取りの面でしぼっちゃうと、産業振興課の中から抜け出せないと思う。

【市職員 U40】

せっかく市職員が参加しているのだから、そんな状況を説得していくのが、自分たち市職員 U40 の務め。

【会長】

一番最初に言ったが、95%だめになるけど、残り5%を6%7%にしてもらいたいということ割と強く言った。U40 でやりたいと思うことをやりたい。やりたいと思うものが優先。土俵にのせた上で、できないならできないという結果でもいい。でもやるんだという気持ちを持っていけば次の U40 に託せるかもしれない。そこはやっていきたい。

もう1回言うと、真ん中の【平成29年度】については

「19-29」/「32-34」/「7-9」

この3つのテーマについて予算を取りに行く動きをしたい。それで OK か？

下にある41-83について。83「うどん屋を守るプロジェクト」について説明してもらっていい？

【委員】

うちの会社のトップがうどん屋をすごく大事にしている、そこの思いが入っている。チェーン店化していてももしろいうどん屋がなくなっている。美味しいのに情報発信が下手だったりすると感じているので、このメンバーで手助けできることがあればという思いで書いた。

【副会長】

パラとかの MICE 誘致で、海外から人がいっぱい来るときに、高松の駅前でおいしいうどんが食べられないというのがある。都市計画の中で、サンポートに「うどん特区」とかで、美味しいうどん屋さんが出店できるような方法をとればいいけど、ハードルが高いので、イベントをやるタイミングで、高松駅前で美味しいさぬきうどん

を食べられるようにうどん村を作るとか。

【会長】

そうなるよ、パラのサブでいい？ほかの提案もサブでいけるかな。72「こどもたちや若者が楽しいと思うまち」の案を説明聞かせてもらっていいですか。

【委員】

こどもたちは未来への投資という視点から、こどもたちや若者と地域の人たちが、何かものをつくる上で、地元の人たちと交流しながらものを作って、それが残るような取組をやって、こどもたちが成長したときにそれを見てまた戻ってくるみたいなイメージでアイデアを出した。

【会長】

だとすると、クラフトウィークみたいなときに、サブとしてミライエで何かやるとかそんなイメージ？82の「地域のなぜ？発掘大会」の案もお願いしたい。

【市職員 U40】

健康チャレンジというのが市の中でされていて、歩く歩数だとかそれぞれが目標を立ててやっていくみたいなものがある。地域でこどもたちにグループを作ってもらって、長縄チャレンジみたいなイメージで、地域のなぞを解決しながら、地域とつながってもらいたいイベントをイメージして書いた。

【会長】

地域性のイベントで、これだと史跡のリアル謎解きゲームとかとも関連付けられるかな。

ではまとめますと、パラを除く3つは予算取りの動きをしていき、それ以外は、サイドとして吸収していくイメージで。

一旦ここで話をとめて、今後の話をしたい。次回、正式な会としては5月を予定している。ここまでのところは事務局と持ち帰って、どういうスケジュールで予算取りの動きを進めていけるか、【すぐできそう】に入っているものも、わりと他の事業から流用したらできそうなものも含まれているかもしれないので、そのできるできないのジャッジをしないといけない。

分かりやすいところと言うと、パラのところはできますとなったときに、どんな進め方をU40としてするのか今日みんなが集まっている正式な場で決めたい。市の立場から、無報酬で、いついつ集まってとお願いするのは現実的に無理な話。ただ場所は提供できる。たぶん市役所になるが。そういうふうな、任意の形で集まることでも厭わないかどうか？ここからは、ほぼお願いベースになるので、自身のお仕事の進捗などによって、ここまでは参加できるけど、ここからはだめという線引きがあって当然だと思う。ただ願わくば、アイデアの言いだしっぺの人にはそれでも関わってほしい。事業が決まって進んでいく上で、主体となるのは提案の横に名前が載っている方々という認識をもってほしいというのは会長としてのお願い。本業で繁忙期と重なる時期とかは、みんなで共有してフォローは会長・副会長ですするという体制にしたい。

U40の会の予算は6回から3回に減っていて、いろいろ制約はあるが、そこはせ

っかくだから僕はやりたいなと思っている。そこに労力を惜しむ人はあまりいないかなと。ただ、お仕事の状況や家庭の事情などは出てくると思うのでそれは、相談してくれたらいい。もう1回言うが、それでもどうしてもやりたいというものがあれば協働企画提案事業を全力で応援する。これは2件まで可能性がある。

3つ目をやっていると時間がなくなるので、【平成30年度】は今日はやりません。すみません。ちょっと判別できないものや、お金かかりそうやなと思うものが入っていると思うので、5月のときに相談しても大丈夫かなと思っている。

今までのところで、正直モヤモヤしている人もいると思うけど、ここが限界かなと思う。これだけは言っておきたいとか、何かあれば。

【副会長】

これだけたくさんの方が集まった中で、ある程度みなさんの意見も思いもいただきながら、会としての道筋が見えてきたかなと個人的に思っている。

【副会長】

スポーツというテーマと、事業承継とかの仕事が軸になっている。観光とかシティプロモーションとかが漏れそうだけど、それをパラでフォローできれば。プロジェクトが進んで行く中で、もう一度これを見直して、ここで漏れているものがないか、くっつけられるものがないかを振り返ることが大事だと思う。

【会長】

素晴らしい意見だと思う。ちょっと思考を変えますね。みなさん今日はこのビジョンは持ってきてないと思うが、みんなで好きなプロジェクトを持ち寄ってやりましょうという会ではない。この創造都市高松の6つのプロジェクトを変えるもしくは維持する、増やす、削除するというのが、僕らに与えられている仕事。みなさんの中で、「これいらないな」みたいなものってあるか？

【委員】

2期のときからずっと、「国際会議」に違和感がある。いらないという話ではないが、それが大きいタイトルとして出てくるのは、内容としてそぐわないかなと。中身を読んでみると実際にはインバウンド観光のことが多く書かれている。インバウンド観光と国際会議は似ているけど違うと思う。

【会長】

ここに国際会議が入り込んだ理由って何かあったりするか？

【事務局】

当時のことを知る者がすぐにはいないのだが、国際会議の誘致だけにしぼったものではなくて、インバウンド全般につながるようなことをここに入れたかったのだろうと推測される。

【委員】

インバウンド全体を言っているので、「インバウンド」の中に国際会議があるイメージかと。

【委員】

「生活工芸」という言葉に違和感がある。「生活工芸」という言葉は、文化交流姉妹都市の金沢市が言い出したもの。生活工芸プロジェクトというものを、金沢市もやっているが、それは一旦終了している。工芸界で使われるもののうち、生活の中で使われるものを指して言う言葉で、作家さんが作ったものもそうだし、伝統工芸もそうで、そういうものを形があるようでない、もやっとしたカテゴリで「生活工芸」という言い方をはじめたが、あまり一般的ではない。

一般的でない言葉を使いすぎかなと。このとき瀬戸内生活工芸祭というのをやろうとしていて、2回やって終わった。それはもうやらないとなっているはずなので、これに変わるといよりは、先ほども伝統工芸の話が出てきたと思うが、高松市は「伝統的ものづくり」という言い方をしている。「伝統」となると、伝統工法しか守ってあげられなくなるので、「伝統的」という言葉を使っている。そのあたりが、すでに立ち上がっている部分でもあるので、そこに寄るのもいいかな。「工芸」としてしまうと、いろいろ難しいと思う。言葉じりを大きいものにバージョンアップしたい。

【委員】

「人間都市」というのがちょっとよくわかんない。

【会長】

それでいうと、グローバルっていう言葉もわかるようでわからない。

【委員】

「国際会議」の内容についていうと、「コンベンション誘致プロジェクト」と言っても、私たちが学会とかの人たちにアプローチするわけじゃない。MICEに基づいて誘致をする、観客が来るといいうのももちろんだが、MICEのEの中に、スポーツイベントも入ってくると思う。一番注目していただきたいのは、MICEで呼んで終わりではなくて、MICEで高松に来てくれた人をどうまちなかの観光に呼び込むか。それに対して、例えば地図が必要だったりとか、案内が必要だったりとか、去年のU40のアイデアにあったピクトグラムもそうで、ああいう形がとても重要。国際会議の場合は、海外から家族連れで来られる方もいらっしゃる。家族の方は別行動で観光されるので、その観光にどれだけリードしてあげられるか。それは、袋の中に観光マップを入れるだけではダメ。そうじゃないところで、どういうふうに入らせていくか、その部分、誘致するというところより、観光の受入体制がもっと重要なんじゃないかなと思う。

スポーツについてはそのものの記載はないが、イベントの中に入ってくるのだと思う。スポーツ3軸である「みる・する・支える」がどこかには散りばめられるといいかなと思う。

【会長】

5月に向けて、またメールで案内されると思うが、次までの宿題です。このプロジェクトのテーマとなるいいワードをイメージしてきてほしい。みなさん忙しいと思う。今大学院に行っていて、大学の先生からアドバイスをうけたが、週に1回15分だけ「創造都市高松」について振り返るといいうこと習慣にしてほしい。そうするとち

よっつずつ進んでいくと思う。僕の違和感でいくと、「人間都市プロジェクト」という部分。「食」「祝祭」「こども」は、ぱっと聞いてイメージできるが、あとのものはイメージできない。我々がイメージできないものを冊子にしてもムダ。

【委員】

直感的にカタカナが多い。日本語で表現をできたらすごくいいなと思う。行政の専門用語みたいなのが多いとダメ。こどもや高校生、大学生が見てもイメージできるような方がいいなと思う。まずは日本語で中身の伝わるものにしたい。

【会長】

めくって1枚目の色まで付けてるところなのに、1.2.3.の補足がないと意味がわからないなんて普通ならありえない。そういうところも含めて、残すべきところは残したらいいし。

【委員】

このビジョンは一般市民向けに作られるものという前提でいいのか？

【事務局】

役所の中で活用するためのものではなく、市民も県外の人も含めて役所の外に向かって発信していくもの。

【会長】

ということは、よりわかりやすい言葉で書く必要がある。U40で取りまとめた内容を親会である審議会で見ってもらう。

【市職員 U40】

この中の取組みというところが、ものすごく具体的に事業としてあがっているが、例えば国際会議でいうと、「わかりやすい案内にしていく」とかの方が本来ここに書くべきことであって、まちのピクトグラムの話なら、「ピクトグラムをわかりやすくしていきます」みたいなことを宣言すればいい。「国際会議をします」とかいう話はここに書くべきことなのかな？とも思う。

【会長】

いろいろ当時の事情があったのだと思う。そういう意味ではPDCAで、僕らでブラッシュアップしていけばいい。これを見れば、高松というまちがこういうまちだとわかってもらえる、6つのプロジェクトを見たら、こういうことを目指しているまちなんだとわかってもらえるようにするために僕らがいる。

一度、今日の話はとりまとめて、今日欠席の方もいるので見ていただいて、進めていくという手順。ちょっとニュアンスが違うよとかあれば、個別に言っただければと思うので御意見ください。今日全員に発言の機会を振ることができなくてごめんなさい。

【委員】

どこを着地点にするかを分かった上で議論できたのがよかった。全体像が見えてい

ないところがあるが、いろいろな方の意見を聞けたので、次回発言できるように、15分の振り返りを実践してみたい。

【事務局】

今回は5月上旬予定。開催場所は未定だが、詳細は後日改めて案内する。場所はミライエも候補に検討したい。

【会長】

御意見などあれば、僕でも、副会長でも事務局でもいいので、どんどんください。どんどんブラッシュアップしながら、なんせ回数も限られているし、事業も始まるとなると個別の動きも出てくる。できるだけ僕は参加するようにするのでぜひ進めていただきたい。

今日は数が多くてどうなるかなと思っていたが、ある程度の方向性は掴めたので、ちょっとそれを一旦いただいて、調整をして、またみなさんに見ていただくという作業をして、進めていこうと思うので、よろしくお願いします。